

飯田市三穂地区伊豆木人形保存継承事業

取組に至る背景・事業の目的

飯田市三穂地区に伝わる「伊豆木人形」は、江戸時代後期に始まったとされているが、大正時代前半を最後に途絶えていた。近年では、飯田市龍江地区の今田人形座の指導により人形浄瑠璃に取り組んできたが、地域の宝として伊豆木人形を復活させたいという機運が高まり、平成 19 年から伊豆木人形クラブとして活動を始めた。しかし、一度途絶えた影響で、今田人形座の楽曲等に依存している状況にあり、今後、三穂地区の伝統文化として保存・継承していくためには、独自性を復活させ、地域への愛着や誇りを持てるような取組に発展させていく必要がある。

事業内容

- 今田人形独自の「寿 式三番叟」の楽曲、音源を作成
 - 地区内上演等による地域文化資源としての活用
 - ・飯田人形劇フェスタ 2014
 - ・天龍峡夏の和に学ぶ
 - ・老人福祉施設
 - ・成人式
 - ・地区文化祭
- 各種イベント等で上演や展示等を通じて、地域の伝統文化に触れ、学ぶ機会を作った。



【信州ふるさと会での上演の様子】

事業効果

三穂地区独自の楽曲が完成するとともに、小学生のクラブ員が 1 名新規加入し、伊豆木人形の保存・継承活動の推進につながった。また、地域全体で伊豆木人形を保存継承していこうと、まちづくり委員会役員 10 名がスタッフとして参画するという新たな取組も生まれた。

各種上演等の参加者がのべ 350 人にのぼり、高齢者や新成人等を含め、多くの人に伊豆木人形という地域独自の誇れる文化があるということを知ってもらうことができた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

今回の事業をきっかけとして、関東地方在住の飯田出身者へ伊豆木人形を上演することになった。地区内だけでなく、地域から出た方へも出身地域の文化に誇りを持ってもらえるよう活動していきたい。

また、現在のクラブ員には、将来、「伊豆木人形」の継承活動の中心となるよう活動を充実させるとともに、新たなクラブ員の確保に取り組んでいく。併せて、「伊豆木人形クラブ後援会」といった地域側の支える仕組みについても、関係団体と協議しながら検討を進めていきたい。

【選定のポイント】

地域芸能を継承したいという機運の高まりから、伊豆木人形の保存継承の基礎ができた。各地域において地域芸能の担い手不足が深刻化している中、将来の担い手となる子ども達を含め、多くの住民が関わり、今後の活動も大いに期待できる。

団体名	伊豆木人形クラブ（飯田市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0265-27-2032	事業費	491,800円
	（事務局 飯田市三穂公民館）	支援金額	368,000円